

働き盛りに健康チェック（10月6日、誕生日記念健診で）

——とじておくと便利です——

あなたと市政をむすぶ★★★★

広報 **なんこく**

**10/15** 1985 No.438

編集・発行／南国市広報委員会

——広報に載ったあなたの写真をさしあげます。企画広報係へお申し込みください——

情をしたところ、地元の熱意について深い理解を示してくれました。そこで本年度内に新会社を設立することとなり、九月六日阿佐宿毛商線の関係市町村助役会議を開催し、県、関係市町村は九月議会に出資金の予算化を決め、本市でも今議会に提案し一般会計補正予算に計上しました。

**可決、採択された**

**意見書と請願、陳情**

議員から提出された「国保財政の危機打開に関する意見書」が可決されました。  
請願、陳情については「養鶏場の撤退と公害防止について」「土地改良総合整備事業について」「十市小学校新プールの設置について」「稲生小学校の体育館兼講堂建築について」「市道認定と舗装工事について」「ハエ撲滅について」の六件を採択しました。



九月四日、知事を先頭として各団体がごぞつて運輸大臣に直接陳

最終設計に入っています。誘致交渉中のミロク機械から、六十二年四月操業を目標に本年十月から工場建設に取りかかりたい旨の申し入れがあり、売買条件など同社と話し合いを進め、早急に売買契約にこぎつけたいと考えています。また、団地造成工事についても、これと並行して行うべく準備中です。

**行政改革**

国の超緊縮予算の中で、本市の財政事情は一段と厳しくなり、一方で市民の行政需要は多様化しています。

この事態に対応するためには、

きめ細かく行政全般を見直し、市独自の立場で行政改革に取り組みなければならぬと決意しています。そのためには庁内の全組織、全職員をあげて、知恵と工夫、理解と協力がなくてはなりません。いずれにしても、行政改革は市政の最重要課題として全力を傾注して取り組んでいく考えです。

**比江山問題**

六月議会でも報告しましたが、当初は八・七で開発計画を作成し許可を得ました。しかし、造成工事費が予想以上の金額となり、公社への負債の上積みも恐れも出たので、当初計画を大幅に修正し最終的に開発面積を七・二に縮小、工法も可能な限り変更縮小

**同和対策**

小集落地区改良事業は、五十九年度から繰り越されていた事業を重点に実施してきましたが、九月中にそのほとんどが発注されることになり、年度内にはほぼ完了する見込みです。また、六十年事業も繰り越し事業と並行して実施しており、年度内消化に向けさらに努力していきます。

五十七年に施行された地域改善対策特別措置法も六十二年三月でその効力を失うことになり、そうなるに膨大な額にのぼる未実施事業を抱えることになり、大きな課題となる懸念があります。

**阿佐線**

ハエ対策は、ハウスや家庭の雑排水などから発生しているハエを駆除すると同時に根本的な環境対策を考えなければなりません。  
香長し尿処理組合への加入については、新しい進展はないが組合長である野市町長も積極的に取り組んでくれているので、期待している。  
八京の開港問題については、八月下旬に地元了承を得て、危険

ムを計画し、研究、討論会をした

ハエ対策は、ハウスや家庭の雑排水などから発生しているハエを駆除すると同時に根本的な環境対策を考えなければなりません。  
香長し尿処理組合への加入については、新しい進展はないが組合長である野市町長も積極的に取り組んでくれているので、期待している。  
八京の開港問題については、八月下旬に地元了承を得て、危険

**可決された主な議案**

- 昭和六十年年度南州市一般会計補正予算 四億三千四百七十七万円  
歳出で主なものをあげると、生活環境施設整備事業費三千八百五十万円、阿佐西線第三セクター出資金一千万円、四国横断自動車道関連事業費三千三百七十九万円、県単同和地区土地改良事業等の同和対策事業費五千七百七十八万円、県単土地改良事業等の農業関係費四千三百四十六万円、道路及び河川改良の土木費九千四百二十二万円、六十年災害公共土木施設の復旧費九百九十九万円、北部運動公園残地処分による開発公社への支払金四千五百万円など。
- 昭和六十年年度南州市住宅新築資金等交付事業特別会計補正予算 補正額一億一千七十七万円を増額し、総額七億八千九百九十九万円となりました。
- 昭和六十年年度南州市下水道事業特別会計補正予算 補正額八千九百九十二万円を増額し、総額九千八百七十六万円となりました。
- 昭和六十年年度南州市国民健康保険特別会計補正予算 補正額四千四百九十五万円を増額し、総額二十五億四千三百九十六万円となりました。

**行革は市政の最重要課題**

**9月定例会市議会**

4億3,477万円を補正  
(一般会計) 総額123億6,967万円

九月定例会市議会は九月二十日開会、十月一日までの十一日間の日程で開かれ、六十年年度一般会計補正予算四億三千四百七十七万円(累計百二十三億六千九百六十七万円)など九議案と議員提出の意見書一件を可決、認定し、請願、陳情六件を採択しました。

**市政報告(要旨)**

小笠原市長は提案理由の説明に先立ち、七月から九月の市政の動きについて次のように報告しました。

**財政**

六月議会で五十九年度の決算見込みを発表しましたが、一般会計の黒字二億五千万円は必ずしも財政の健全化を示すものではなく、五十八年度の黒字二億二千万円の繰越金を財源としたもので、単年度では三千万円に過ぎません。黒字の要因は、市債(借入金)や事業の六十年年度への繰越金、その他臨時的収入によるものです。そのことは、五十九年度の決算内容が経常収支率八七・六割と急激な上昇をしていることからも明らかです。

今後の財政運営は、単なる予算編成上のことで解決されるものではなく、行財政制度の見直しや改革によって前素で効率的な行政を

**海岸地域美化**

**シンポジウムを計画**

**一般質問**

九月定例会市議会での一般質問は、二十四日から三日間、瀧淵(健)、高島、岡林、西山、山本、会井、徳永、竹内、山崎の各議員が市長の政治姿勢や行財政、教育などの問題について、執行部の考えをたどりました。執行部の主な答弁は次の通りです。

行政改革は全力を挙げて取り組む。労使の安定した関係を考慮しながら対処したいが、決意に変わりはしない。行政改革審議会は民間の有識者十人、議会議員五人の十五人で組織したい。組織の具体化や実効を上げるための方法についてはこれからの課題で、今議会が終わりしだい取りかかりたい。

比江山の市有地は工業団地化を計画し、当初八・七で開発許可を得たが、造成工事費がかなり必要なので何のために土地を処分するのか分からなくなる。そこで、七・二に計画を縮小した。内訳は道路、水路、調整池などが二・八割、工業用地として四・四割を確保するようにしており、当初の計画造成費よりかなり減らすことができた。

また、ミロク機械が一部を取得し、米年四月操業開始を目標に進出を計画しており、且下単価の折

衝をしている。単価が決まれば、仮契約まではそう遠くない時期にできるのではないかと考える。

市有地にある運動場の移転は、比江の国御跡南側を予定していたが、比江地区全域が周知理蔵文化財包蔵地域であるということと断念せざるを得なくなった。他の地区については現在検討している。

小学校施設の整備は、増設案を要するものが五校あり、ほぼ計画に沿って事業を進めている。順序については、実態を踏まえ慎重に対応する。

校舎の周辺整備や内部設備などの環境整備も施設の完成と並行してやりたいが、財政的にどうしても後回しになる。時間はかかるが財政の許す範囲内で順次整備していきたい。

大森保育所の改築については、市内全域に老朽園舎が多く、要望

を満たせなかったが衛生上、環境の問題もあり、大森小が済みだいで六十一年度から取りかかりたい。埋め立てから始め、なるべく早く着工したい。

航空機の事故対策については、今年一月に市長を会長とした航空機事故対策関係機関連絡協議会を設置した。それによって、空港事務所、消防署、海上保安部、警察、南州市等の各機関が事故発生の場合にとる具体的な対処法を決めた。しかし、机上では解決できない問題もあると思うので今後、更に検討したい。

健康づくりは市発展の基礎だと考えている。現在、市健康づくり推進協議会で議論をしてもらっており、更に発展させるよう努力したい。また、地区の推進会を組織したい。

海岸地域の美化推進は、ごみ、ハエ対策、雨水・雑排水の三点にある。地域住民の積極的な協力を得るためには、行政が意識高揚に取り組み必要がある。広報や一斉清掃などで美化を進めているが、他地区から捨てて来たり、河川から流れてくることもあって、全般の住民にPRしてくれとの要望が出ている。そこで、十月末から十一月初旬に建設省、県、市、婦人会、青年団など各団体や地域住民も参加して海岸地域美化のシンポジウ

ムを計画し、研究、討論会をした



# ごみステーションは〇〇

## ごみ捨て場ではありません

### 目に余る不法投棄

### 今後は告発も!

南国市は約十年前からごみ袋を指定し、指定袋の使用はもとより、分別の徹底、収集日時の厳守を旨とし、市衛生委員連合会と共に深夜、早朝とステーションに立ち指

導にあたってきました。

しかし、先日の高知新聞紙上にも報道されたように依然としてこれらのことが守られず、不法投棄が後を絶ちません。

九月十二日開催された南国市衛生委員評議会（各地区衛生委員長で構成）の中でもこのことが問題になり、「大変不本意ながら、今後は警察への告発もやむを得ない」との結論になりました。

市民一人ひとりが注意し合うことはもちろんですが、市外の人の不法投棄もあり十分な監視も必要となっており、この点についてもご協力をお願いします。

なお、車による不法投棄者については、車のナンバーをチェックのうえ、環境保健課環境係（☎⑤2111内線322）までご連絡してください。



## 関係法令

### （抜粋）

□南国市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

#### （市民の協力義務）

第八条 処理区域内（南国市全域）における土地又は建物の占有者は、その土地又は建物内の一般廃棄物のうち、生活環境の保全上支障のない方法で容易に処分できる一般廃棄物は、自ら処分するように努めるとともに、自

ら処分しない一般廃棄物については、種別ごとに分別して各別の容器に収納する等、市長の指示する方法に従わなければならない。

#### （投棄禁止）

第一六条第二項 何人も、みだりに次に掲げる行為をしてはならない。

①第六条一項「処理計画区域の指定」に規定する区域内（河川その他公共の水域）又はその地先海面において

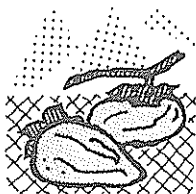
## ごみステーションとは〇〇〇

- 収集日当日の日の出から午前8時まで
- それぞれのステーションの当該地区住民が
- 市指定のごみ袋を使用し
- 正しく分別した指定内容物を
- 収集のために集積を指定している場所のことです

廃棄物を捨てること

#### （罰則）

第二七条 第一六条第二項の規定に違反した者は、三月以下の懲役又は二十万円以下の罰金に処する。



# 衛生委員会の思い出



高村祐行さん

高村祐行

(国分・元国府)  
地区衛生委員

このため国府地区、岩地区など常時九〇以上の受診率でした。南国市となっても衛生委員会の活躍が上がり、南国市全体の受診率も常に八〇以上でした。今でもきつとこれくらいはいつていることでしょう。このころ、高知の方から結核予防会へ入らないかと、婦人の方が数名来られ会合を持ちましたが、南国市の方がより進んでいることが分かり、その傘下に入ることをお断りしたエピソードもあります。

後免町時代はチフス、赤痢等の予防には、町役場で予算を組んでもらい、薬品を買ってもらい衛生委員が一家一戸噴霧器やじょうろを持って便所、どぶなど消毒して歩きました。年間二度は一斉消毒でした。この無料でいたっていた薬品も南国市となってからは打ち切りとなり、大変困りました。

南国市衛生委員会は、全国に誇り得るすばらしい組織であると、私は今でも信じて疑いません。この制度は、昭和二十八年、旧国府村役場の中に設けられ、十名の衛生委員で発足しました。この戦後の混乱から八年、ようやく生活の安定の兆しが見え始めたころでしたが、法定伝染病、特に結核、チフス、赤痢など毎年のように多発していました。これを予防するためにつくられた制度です。昭和三十一年、町村合併で後免町となり、ますます大きな組織となって衛生委員会の活動が活発になってきました。まず、住民票の台帳を作り、衛生委員全員がこの台帳を常にかけていて、レントゲン検診の欠席者をチェックし一人ひとり呼び出して受診させました。



## 赤い羽根共同募金

### 買物客に

### 市長らが呼びかけ



初日には、市長らが買物客に募金を呼びかけた

私は思っています。当時の衛生課の課長さんたちが北村氏の熱心さと迫力にたじたとされていたことを思い出します。

南国市の衛生委員会の歴史も三十年を超えました。衛生委員会の初期目的は達成しましたが、衛生委員会の仕事の中心は大きく変わりました。発足当時は何の心配もなかった廃品やちりとの闘い。特に廃品、ちりとの集積所の整理に大きな努力が必要となりました。市民の皆様も衛生委員さんのご苦勞を察して集積所は美しいように協

力を尽くしてほしいと思います。また、検診の方も法定伝染病から「がん検診」へと新しい方向へ進んでいます。献血の推進も衛生委員会の仕事となっています。市民生活が豊かになればなるほど衛生委員会の仕事は多くなるようです。

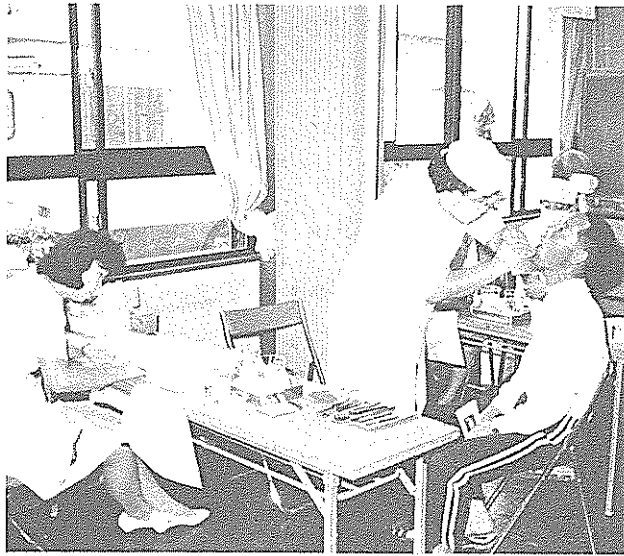
現在、南国市には百名をはるかに超す委員さんがおられます。緑の下の方持の仕事ですが、ご健康に留意し、ますますのご健闘をお願いいたします。

「まごころをとどけよう」「赤い羽根共同募金」が、十月一日から始まりました。

初日には、午後四時から二時間市内四カ所のスーパーマーケットの店頭で、小笠原市長、岡崎俊一議長、社会福祉関係者ら五十人が買物客に募金を呼びかけました。

この日の街頭募金での善意は約八万円。

共同募金は、十月一日から十二月三十一日までの三ヶ月間行われ、特に十二月の一ヶ月間は「歳末たすけあい」もあわせて繰り広げられます。市民の皆さんのご協力をお願いします。



胃がん、歯科検診など、6項目にわたって詳しく検診

## (誕生日記念健診) に173人

### 胃がんなど6項目をチェック

働き盛りの四十歳に健康チェック——十月六日、今年四十歳を迎える人(女性は三十歳を含む)を対象に「誕生日記念総合健康診査」が市立中央公民館で行われ、百七十三人の方が検診を受けました。健康管理のためには、定期的な検診は大切。四十歳の節目に「自分の健康は自分で守る」という気持ちで、これからは必ず検診を受けるようにと、今年初めて行われたもの。

検診内容は、胃がん、成人、子宮がん、乳腺、レントゲン、歯科の六項目。女性は特に三十歳の方も対象として、子宮がん、乳腺検

診などを重点的に行いました。午前八時過ぎには、大勢の人が訪れ、受け付けはいっぱい。それぞれ健康に対する関心の高さをうかがえました。

この日受診した人は、申し込み者三百五十八人に対して百七十三人。各検診を合わせた延べ人数は五百十一人となっています。

胃検診を受けていた男性は「勤

め先でも検診はあるが、一度も受けたことはなかった。今日は、女房が申し込んでいたので来たが、やはり健康に注意しなければならぬ年にきていると思う」と、話していました。

また、寄せられたアンケートの声を拾ってみると——。「健康は悪くなくて安心した」「健康は財産ということを感じ」「検診

に時間がなかった」「自分の健康状態を知るよい機械を得た」「自分からはなかなか行かないので、こういう機会があればいい」など。環境保健課関係では、この健診を、今後継続してやっていく計画です。

## 手作りカステラ

### 贈る

#### 大篠地区社協が独居老人に

大篠地区社会福祉協議会(長野正文会長)が九月二十七日、地域の食生活改善推進員の協力を得て、一人住まいのお年寄りに手作りカステラを贈りました。

これは、独居老人におやつの一ビスをと、同協議会が年間事業計画の一環として今年初めて取り組んだもの。

この日はまず、地元の人二十人が参加し、地区の食生活改善推進員が、健康づくりのための食生活について講習会を開きました。

そして、午後から五人の推進員と参加者の方も協力し、お年寄りに食べてもらうカステラを作りました。

大篠地区には、約五十人の独居老人がいますが、今回は伊達野、住吉野など南の地区に配ることにし、推進員が直接訪問。「手作りのカステラです。召し上がってください」と手渡すと、お年寄りも「ありがとうございます」とお礼を述べてい

ました。

同協議会では、今後早い機会に残りの地区についても「おやつサービス」を行っていくと約束す。



手作りカステラをお年寄りに手渡した

## 米國紀行...③

岡 雅司  
(オク  
谷・市 H  
クラブ 長)



### 運転免許 五ドルで取れた

私の場合は一人でアメリカ人家庭に入り、ここから大学に通った。家族は四人だったが、ちょうど私が世話になっているときに三人目の男の子が誕生し、五人家族となつて、いいかげんにぎやかだったのが、また一段とにぎやかになつた。

子供の無邪気さはどこに行つても同じように感じた。おもしろいことに、ここでは生まれたばかりの赤ん坊を子供部屋のベッドに一人で寝かしていた。生まれたときから独立ということを教えるからである。それと同時に「人に頼らず」「人に迷惑をかけず」ということを教会、宗教を通じ身に着けさせる。

また、休日には家族とともに、山に海にキャンプに行つた。ほんとうにアメリカでは家族単位あるいは夫婦単位での行動が多いように思えた。そしてまた、子供が進んで親の手伝いをするのに感心させられた。

一方、大学では農業全般を米國中心に学び、米國農業について多くの知識を得た。あつと言う間に三ヶ月が過ぎ、世話になった人たち、またカリフォルニアの霧がかかったようなすつきりとした空とも別れ、再び暑い真つ青な空に大きな太陽の光がかんかん降り注ぐアリゾナでの仕事、自炊の生活に戻つた。

ちょうどこのとき車の免許証を

取得した。たいへん簡単なもので、一枚のペーパーテストと自分で持ち込みの車による縦列駐車と四百メートルの所を一周し、なんと五ドルで取得できた。また、道をも満足に歩けない老人が前方だけに視点を向け、制限速度八十マイルの道路を走っている社会であり、私たちの農場主もその一人だった。広大な土地の中に幅広いまっすぐな道路が敷かれており、車が生活必需品として利用されている米國ならではのことであろう。

アメリカ人というのは馬に乗ること、車等でのけん引、機械の修理が非常に上手である。幼いころから馬に乗り、また夫婦、家族で馬に乗り散歩している光景をよく見かけた。私も一度二時間も乗つたが、なかなか思う方向へ走つてくれず、馬の走るリズムに合わず、明くる朝、尻が赤くはれた。

米國農場に限らず、その他においても車・トラクター等のけん引は絶対必須のものだ。最初のころは何回やっても思うようにバックできなかったが、慣れというものには恐ろしいもので、幾日も練習していると自然にできるようになる。また、大型機械農業である米國では、機械をいかに大事に長く使用するかが非常に重要だ。ほとんど自分の農場内で修理し、時には必要に応じて機械を自ら作り出すの

には感心させられた。暑さが和らぎ過ぎず、しやすい時期になると、スノーボードといわれる寒さしのぎの老人が全米、特に北の州からこの暖かな南の州のアリゾナにキャンピングカーなどで訪れ、日ざしの強くなり始める四月、五月ごろまで滞在することとなる中では、この地に家を構え長期滞在する者もいる。この時期には町の人口が一・五倍以上に膨れ上がり、それと同時にフルーツスタンドがオープンし、オレンジなどの収穫が始まる。

マス用オレンジ類の宅配時期である。クリスマスは皆さんもご存じの通りイエス・キリストの誕生を祝う日だ。宗教心の強いこの國では日本とは反対に正月以上にぎやかで、各家庭の窓や屋根の周りには色とりどりの電球が点滅する。また、屋内にはクリスマスツリーが飾られ、ツリーの下には山のようプレゼントが積まれている。この州では十年前に一度少しの雪が降つたと聞いたが、それ以降は全く見ることなく、ホワイトクリスマスは味わうことのできないこの地の人々である。



自動車は生活必需品。広大な土地に幅広いまっすぐな道路がどこまでも続いている(メサ市郊外で)

(つづく)



九月一日から始まった「第二十三回市民体育大会」が全日程を終了。今年新しく綱引きとフレイ射撃が加わり、十八種目に熱戦が展開されました。結果は次のとおりです。

綱引き、射撃も加わり

18種目に熱戦

陸上競技

〈小学生の部〉

男子：▽一年50歳▽高木正友▽三、四年100歳▽永田貴宏▽五、六年100歳▽大塚雅也▽五、六年100歳▽大塚雅也▽走り幅跳び三、四年▽永田貴宏、五、六年▽西岡明泰  
女子：▽三、四年100歳▽西岡由妃▽五、六年100歳▽筒井満矢▽五、六年100歳▽久米明美▽走り幅跳び三、四年▽西岡由妃

〈中学生の部〉

男子：▽一年100歳▽白石康治▽三年400歳▽吉川なおゆき▽三年800歳▽吉川なおゆき▽一年1500歳▽白石康治▽走り幅跳び二年▽河合智子  
女子：▽二年100歳▽峰由加▽三年100歳▽稲永晃子▽二年800歳▽徳田みき▽走り幅跳び三年▽稲永晃子▽走り高跳び三年▽谷村都子

〈一般の部〉

男子：▽100歳▽高木正行12秒6▽400歳▽高木正行59秒0▽1500歳▽小原良一4分56秒4▽5000歳▽近森弘明19分42秒4▽走り幅跳び▽西岡正泰  
女子：▽100歳▽西原盛子16秒2▽500歳▽西原盛子5分54秒1  
〈壮年の部〉  
男子：▽1500歳▽久米康市▽3000歳▽久米康市  
女子：▽100歳▽山本弘子▽3000歳▽山本弘子

ピッチリレース

①山本弘子②西原盛子③市川絹子

水泳

▽自由型(50m) ①中辻善彦 33秒0 ②戸梶勝彦 38秒0  
▽平泳ぎ(50m) ①戸梶勝彦

42秒7 ②中辻善彦 43秒5 ③木下純一 43秒9

ゲートボール

①白山②長岡A③中島

少年サッカー

①三和A②北陵A③大篠A

壮年サッカー

①三和②奈路

フレイ射撃

トラップ①西野貞二②西川清

中村寛

スキート①山本卓水②北岡登志広③多田忠嗣

卓球

団体

▽一般①高知大学②医大職員▽高校中学校①高知農業B②高専F

個人

▽一般男子①国武哲則②北川和彦▽一般高校女子①山本利津



子②島崎貴子▽高校男子①吉井暢仁②嶋崎義和

バドミントン(W:ダブルス、S:シングル)

▽小学男子▽藤松孝幸▽小学女子S▽吉永真直▽小学女子W▽吉永真直、岡崎レナ▽中学男子S▽横山毅▽中学女子S▽浜田美佐▽中学ミックスW▽横山毅、羽方伸

▽一般女子W▽公文真弓、小松三枝子▽一般女子S▽田所己代▽壮年男子W▽上田安行、羽原哲也

▽壮年男子S▽羽原哲也

▽初心者男子S▽立田俊彦▽同

W▽立田俊彦、西川なみお▽一般

フリー男子W▽岸本誠一、松本良

春▽一般フリー男子S▽岸本誠一

▽軟式野球

一般①国府体育会②パーバ岡村 壮年①日章ホーチーズ②国府体育会

武道

柔道

団体①高知A②香南中A③南

個人：重量級①武田剛②弘末啓貴③飯田倫大 中量級①中村博文②田所昌彦③島内秀明 軽量級①中村吉孝②久田鉄也③岡林伸一

各部優秀者

▽合気道①川村健二、野村泰隆

野村孝二郎、本橋孝行、森田浩司

▽薙刀道①岡林香代、前田恵子、

小松順子▽剣道①土居絵理子、水田理香、前田宝紀、秋山真貴子、島崎龍介、葛目悠輔、水田由香▽空手道①鍋島賢之、土居功貴、井上文夫、鍋島栄二、大家信二、水田博之、村田亜弥、鈴江慎太郎、岡林徹、山下晃弘▽小林寺拳法①北村基子、藤川江美、小松匠、中村真也、田島洋介、田中一博、長崎隆、長崎真由美▽居合道①氏原俊一、鈴木成雄、岡村慶保、渋谷信雄

綱引き

①三和A②やまもも③ヤンバル

わんぱく相撲

団体①長岡小A②大湊小C③長岡小B

個人：▽四年①永田昌樹②中村幸男③草道明▽五年①池森剛②藤田力③大塚貴章▽六年①岡林立身②飯沼勝彦③西川大

バスケットボール

男子①フェニックス②南十字星 女子①はちきん②南十字星

スカッシュボール

①吉田C②吉田B③吉田A

ソフトボール

Aゾーン①南国Z②瓶岩 Bゾーン①岡豊②土居ノ谷 Cゾーン①大湊②下末松 Dゾーン①包末②植田A

バレーボール

男子①南国A②市役所 女子①こんぴら②稲生B

# 米の消費拡大を図ろう②

十市農業協同組合

組合長理事 北村謙一

現在、日本人の米の消費量は平均して一日、茶碗三杯程度といわれているが、更に分析検討すると都市住民が二杯、二十歳代は一杯程度ともいわれており、現在の米の消費生活が、特に若年層の食生活が、そのまま今後十年、二十年と続けば、いかに転作しても農村の活性化と農家の収益の向上は有り得ないと思う。

その意味で田園生産都市として、父兄も米飯（ご飯だけでも）弁当持参の運動を起し系統農協の資金とエネルギーでバックアップし、政府も米の消費拡大に努力する方針であるので、民族的、市民的に努力する必要があると考える。

米の消費拡大が農村の活性化を図り、農業の振興につながると思えるが、それを阻害しているのは母親にも責任があまりはないか。それは、農家でも兼業農家が増加し、農業の労働報酬が少ないため学校卒業後、直ちに農業に従事する者はほとんどなく、給料取りに

なつて結婚後も勤務を続けているため、両親は米を政府に売り渡しているが、勤めの帰りに多忙に紛れ食パン、めん類を買って、朝食、昼食などには自らも、子供もパン食、めん類で済ましている農家も増えている。

したがって、現在の子供は行動範囲の狭いこともあるが、たくましさがなく炎熱の中での起立では倒れる者があり、運動会で転ぶと骨折する現象が起きている。多忙な生活の中でも、母親はタイム炊飯器の活用をすれば米食は市民生活の中に生かされると思う。

母親は日本型の健康食を自覚し、米と魚と野菜と肉を計画的にバランスよく配膳し、独立国として戦後の「古領胃袋」より「独立胃袋」に切り替える努力が必要でないかと思う。子供のころの食習慣は将来に影響するので、母親が米の事柄について子供によく話し、ご飯のいろいろなおいしい料理を与え、特に中学、高校生の育ち盛りには

十分配慮すべきだと思う。要するに米食民族である日本人に最適の食であり、健康体に育てるといふ母親の自覚を促したい。

次に学校給食であるが、昭和二十九年、学校給食法が制定されたが、当時米の生産量が少なかったため、米国のGHQが自国の輸出を続けるために主食はパンのみに限定されていたが、昭和五十一年、当時の藤田全中会長が米の消費拡大のため政府に要求し、パンまたは米と改正された。全国的にみても学校給食の米飯実施回数が少ないが設備費、給食作業の労働力、パン業者の優先圧力の関係か、米食の普及が大幅に遅れている。また、少年非行の問題が叫ばれている。なぜ愛情の弁当が作れないのか。

この問題で、行政サイドで努力して効果をあげたのが静岡県藤田郡豊岡村の藤森前村長であり、現市川村長もその方針を続けていると聞く。前記の米食普及に困難な問題はあがるが、政府も米飯学校給

食については計画的、積極的に推進する方針が決定されているので、呼応して普及拡大に努力すべきだと思う。

米の消費拡大運動の中で「米価を値上げすると消費が伸びない」という発言もあるが、果たして米価は現在の経済機構の中で高値であるのか。消費者も二重価格により国の財政負担で生産者価格より安く供給してもらっている現実を踏まえ、米食民族の自覚を持たせ、生活のエネルギー源として、健康保持のための最優先の必要経費と見なせば、価値観的に極めて安いと思う。

本年二月二十五日、政府は食糧の逆さや縮少のため、消費者米価を三・七割アップし、相当り三千七百六十四円（百三十六円ア

ップ）したが、一、二、三杯三十七六円で一、二杯大体七合だから一合約五十四円、炊くとお茶碗に三杯というから一杯十八円。たとえ多少の副食を要してもこんな安いエネルギー源の食費が外にあるでしようか。

前記で平均的に一人一日三杯といつても幼児も含めてのため、仮に三食ごと三杯食べても米飯代は一日百六十二円となり、コーヒー一杯二百五十円と比べてみるとよい。人間の健康保持の第一の必要経費と位置付ければ、家計的にもさほど負担にならないと思う。私も僕も農家も非農家も適切な副食により米の消費拡大を実践しよう。

（このシリーズは、今回で終わります。）

## 婦人問題講演会

○入場無料○

### “女たちの昨日、今日、明日”

深尾凱子

読売新聞  
編集委員

とき・10月28日(月)午後1時30分～3時  
ところ・南国市社会福祉センター  
主催・高知県



# 第25回市展

11月17日～24日

多くの人の出品を

お待ちしております

搬入=11月13日

## 〔一般の部〕

- 期間：11月17日(日)～24日(日)までの8日間。
- 時間：午前9時～午後5時。ただし、初日の17日は午前10時から開会式を行い開館。最終日の24日は午後4時閉館。
- 会場：市民体育館。
- 部門  
洋画、日本画、書道、漫画、デザイン、彫塑工芸、写真。
- 出品資格  
南州市在住、または勤務・在学する者、および出身者。
- 出品点数  
一人一部門に五点以内。
- 出品手数料  
一点につき三百円。
- 出品規格  
日本画：色紙は除外  
書道：ガラス張り幅横一尺以内の作品に限る。所定の用紙に楷

## 転作農家の皆さんへ

書で釈文をえること。  
漫画：劇画、一コマものほか漫画描写で、ワク張りか額縁に入れること。  
写真：四ツ切り以上全倍までのワク張りに限る。  
以上のほか、出品作品の規格、

## 第12回文化祭

- 美術部門 10月20日～27日
  - 芸術部門 10月20日・27日
- 市民体育館

その他は原則として各部門を通じて大きき等は制限しないが、会場の都合や会場にふさわしくないものは制限する場合があります。  
■搬入  
11月13日(水)、午前10時～午後7時まで、市民体育館で受け付けます。

転作推進について、日ごろ格段のご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、季節も秋を迎え、よりいっそうの収穫を目指し努力されていることと思いますが、転作作物の生育ぐあいはいかがでしょうか。  
ご承知のように、転作は収穫を前提としています。皆さん、今年も大豆、そばの出荷契約を農協と結び、収穫し出荷するよう、ご協力よろしく願います。  
〔産業経済課転作係〕

楽しい催しと

秋の味覚がいっぱい

## 土曜日17周年記念感謝祭

とき・10月26日(土)午前8時～午後6時  
ところ・土曜市会場  
姉妹市の広見町の特産品もどっさり

## 身体障害者大運動会

身体障害者が運動競技を通じて、体力の維持、増強をはかり、また積極性を養うことを目的に「土佐長岡郡・南州市身体障害者大運動会」が、次の日程で開催されます。お気軽に参加してください。  
■日時：10月29日(火)、午前10時～午後3時

場所：本山中学校体育館

市内に住んでいる身体障害者の方ならどなたでも参加できます。参加者には、事務局で昼食を用意しますので、参加希望者は市身体障害者協議会(☎4444)まで連絡してください。

## 母子寡婦家庭の皆さんへ

親子の親びくを深め、子供たちの健やかな成長を願って、今年も楽しい運動会を行います。みんなで誘い合って参加してください。  
とき・11月3日(日)午前9時～12時  
ところ・大篠小学校運動場  
主催：南州市母子寡婦福祉連合会



※なお、雨天の場合は市役所に集まってください。

## 国民年金へ

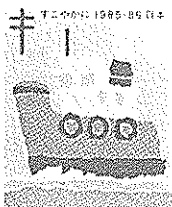
任意加入されている方

昭和六十一年四月から実施される国民年金では、サラリーマンの配偶者で二十歳以上六十歳未満の人はすべて国民年金に強制加入することになります。  
現在、厚生年金または船員保険の加入者に扶養されている方(健康保険の被扶養者となっている場合は、第三号被保険者となり国民年金の保険料を個別に納めなくて

## (複十字シール)

## 募金にご協力を

複十字シール募金は、今まで衛生委員会が実施していましたが、今年から「健康づくり婦人会」も協力することになりました。  
ご承知のように、複十字シール募金は、結核撲滅ゼロを目指して行う募金運動です。その資金は結核検診車の購入等にあってられ、高知県でも検診車が購入され、その名もシール号として各地区に出向き活躍しています。



も、老齢基礎年金等の年金を受けることができるようになります。  
※第三号被保険者として取り扱われるためには、市町村役場に届け出て確認を受ける必要があります。現在国民年金に任意加入されている人のうち、第三号被保険者

に該当する方については、種別の確認事務が今秋から行われます。お手元に送付された届け書(十一月末～十一月送付予定)により、早めに必ず届け出をしてください。  
〔市民課年金係〕

シールは封筒の裏などにはり「私も結核予防運動に協力しています」の意志表示ができます。よろしくご協力お願いします。

## 市職員採用試験

受け付けは10月21日～30日

試験区分と採用予定人員  
行政…若干名  
保母…若干名  
調理師…若干名  
用務員…若干名  
■受験資格  
行政：昭和三十六年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人。学歴は問いません。  
保母：昭和三十六年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人で、保母の資格を持っている人または昭和六十一年三月三十一日までに保母の資格を取れる見込みの人。  
調理師：昭和三十一年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人で、調理師の資格を持

っている人または昭和六十一年三月三十一日までに調理師の資格を取れる見込みの人。  
用務員：昭和三十一年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた人。  
■申込期間  
十月二十一日(火)から三十日(木)平日は午前九時から午後五時、土曜日は正午まで市役所で受け付け(なお、郵送による場合は十月三十日の消印可)。  
申込用紙の請求、申込先、試験についてのお問い合わせは……  
南州市役所管理課職員係  
☎2111内線423か  
442までどうぞ。

## 市の統計 9月

60.9.30現在

《面積》	124.98km
《人の動き》	
人口	47,779人 (前月比55増)
うち男	23,182人
女	24,597人
世帯	16,684世帯
出生	44人
死亡	35人
転入	164人
転出	118人
《交通事故》	
発生件数	25件
死者	1人
傷者	31人
《火災》	
発生件数	3件
うち建物	3件
車両	0件
その他	0件
被害額	40万円
《救急》	
出動回数	76回
うち急病	32回
交通事故	12回
一般事故	9回
その他	23回
《建築確認申請》	41件
《開発許可申請》	8件
《農地転用許可申請》	11件

10 11

市民カレンダー 10月21日から11月10日まで

●健康相談など

●金属類の収集

内 容	地 区	日 曜	受 付 時 間	場 所	対 象	
子宮・乳線 検	日 章	%	未 定	日章地区公民館	申し込み者	
愛の献血	全地区	21	月	9:30~11:00	サニーマート	申し込み者
			月	12:30~1:30	南国病院	
			月	2:15~3:30	入交産業	
		29	火	9:15~10:45	南国市役所	
			火	12:00~1:30	高知大学農学部	
			火	2:45~3:30	市農協国府支所	
胃 検 診	岡 豊	22	火	7:30~8:30	定林寺公民館	申し込み者
		23	水	"	岡豊地区公民館	
	稲 生	24	木	"	市農協稲生支所	
3種混合 予防接種	全地区	22	火	個人通知者 <small>(吉川診療所は29日休診のため30日に変更)</small>	申し込み者	
		29	火			
リハビリ 教室	"	23	水	1:30~	社会福祉センター リハビリ室	
栄養教室	"	24	木		大篠地区公民館	
健康相談	田 村	25	金	1:30~3:00	田村西部公民館	申し込み者
	植 田			"	植田公民館	
	瓶 岩	30	水	9:30~11:00	亀岩公民館	
	黒 滝			10:00~11:00	黒滝公民館	
10カ月児 健 診	全地区	28	月	1:30~2:30	市立中央公民館	S.59年 11月 生まれ
健康相談 育児 "	野 田	29	火	1:30~4:00	下野田公民館	
不 用 犬 引 取 り	全地区	%	火	9:00~9:30	市立図書館前	
愛の献血	"	5	火	9:30~11:00	県税事務所前	申し込み者
				1:00~3:30	ミロク製作所	
健康相談	左右山	6	水	1:30~3:00	左右山公民館	
3種混合 予防接種	全地区	6	水		個人通知者	
婦人がん 検 診	岩 村	7	木	午 前	岩村農協	申し込み者
	前 浜			午 後	南部福祉館	
インフルエンザ 予防接種	全地区	8	金	8:30~12:00	谷医院・吉川診療所 北村病院・山本内科	希望者
健康相談 育児 "	稲 生	8	金	10:00~3:00	稲生地区公民館	

日 曜	地 区	備 考	
%	火	物部、稲生	第4火曜日
23	水	大篠	" 水曜日
25	金	岡豊	" 金曜日
28	月	久礼田	" 月曜日
%	金	大篠	第1金曜日
4	月	三和	" 月曜日
5	火	野田、後免、宇田	" 火曜日
6	水	長岡	" 水曜日

●不燃物(金属類以外)の収集

日 曜	地 区	
%	月	野田
22	火	笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原
23	水	中島、常通寺島、江村、小笠、三軒家
24	木	植田、久礼田
25	金	植野、鎮石
26	土	瓶岩、上倉
28	月	国府、岩村
29	火	十市北部、泉住蒲原団地
30	水	収集地区なし
31	木	
%	金	立田
2	土	田村
4	月	十市南部
5	火	黒改田、片山
6	水	浜改田
7	木	前浜、下島、久枝
8	金	山崎、八木、田井、関、竹中 西野々、住吉野、伊達野、南海学園
9	土	篠原、明見

●休日在宅医

日 曜	当 番 医	電 話	
%	日	川本胃腸科内科(東崎)	☎2543
27	日	小松診療所(稲生)	☎8334
%	日	北村病院(後免町)	☎2101
4	月	西川診療所(物部)	☎2751
10	日	山本医院(後免町)	☎2545

南国市役所…… 〒783南国市大涌甲2301 ☎63-2111(代)

鎮石支所☎62-0020 岡豊支所☎64-2423 十市支所☎65-8401  
水道局☎63-1234 市民体育館☎64-3498